

林檎

岩手Mac友の会

Vol.5, No.4 1993.11.20

Iwate Macintosh Funclub

840AV 例会に登場

10月21日の新製品発表は、すっかり恒例行事となった感じがします。今年は何例外的に8月にすでに一部の機種が予告されていました。

さて、今回の新製品の中でも目玉なのは、なんといってもAVシリーズでしょうか。新たに搭載されたDSP (Digital Signal Processor)がもたらす高性能を背景に、ビデオモニター機能、音声認識といったことが、いとも簡単にできるようになりました。

木津屋本店のご厚意で、660AVと840AVが例会で披露されました。

SonyのHandycamを、ビデオケーブルだけで接続し、スナップ写真を取るとというのが、本当に簡単にできるというのは、驚きです。また、新たに登場したAVディスプレイであるApple Audio Visionも併せて披露され、そのDisplay内臓スピーカとは思えないほど優れた音質に、例会に参加した会員から、思わず歓声が漏れました。

プロジェクター

お馴染みの白石さんが、今回は大型液晶プロジェクターと、Scan Converterを持ち込んで、Macの画面をスクリーンに映し出すデモを行いました。前回のものよりも、かなり解像度が高く高性能のものでした。11月末に開催さ

れるmini MMMにも持ち込むことになっていますので、事例発表などに威力を発揮するものと期待されます。

Newton 登場

JUGAC (詳細は4頁の特集参照)の成果ともいえるNewtonのデモが早くも例会で実現しました。9月からは全米で買えるようになったとはいえ、日本では買えないNewton Message Padをアップル社から拝借してデモを行いました。本当に小さいので数人で頭を寄せ合って、文字の認識や、メモが眉筆に捨てられるアニメーションがウケます。交代で実際に触っては、ちゃんと文字が認識されたらというのは盛り上がり、違う単語に認識されたらというのはワイワイ騒ぐといったNewtonのデモでした。

IMF専用BBS

IMFのメンバー間の連絡用メディアとして、盛岡市実験パソコン通信とHyperTermが愛用されてきたことは周知の事実です。ただ、いつまでも外部の好意に甘えていることは、IMFが社会人を中心とした会としては、腑甲斐ないことだと感じていました。今回UGACの中で、今後のMacAvenueの在り方が議論され、UGが独自に運営するBBSをネットワーク化するとい

う方向性が打ち出されました。

そこで、長年お世話になった盛岡市実験パソコン通信から巣立って、IMFが独自の力で運営するBBSを立ち上げることを世話人会で話し合った結果、独自にBBSを運営することが、資金、体制上からも可能であり、将来的にも独自に運営していくことが望ましいとの結論に達しました。

現在、そのための準備と接続実験を行っていますので、今年中にIMFのIMFによるIMFのためのBBSが開局される見込みですので、会員の皆さん、楽しみにしててください。



Inside

私のMacLife	2
UG代表者会議の内容	4
山の花	6
余慶なお世話	7
電脳釣り師の熱い夏	8
PhotoCD 体験記	10
はじめてのMac研修	12
林檎ギャラリー	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16

私のMacLife

野のWACTIG

by 千葉浩保

Macとの出会い

フロッピーディスクのアイコンをゴミ箱にドラッグするとフロッピーディスクがイジェクトされる。昭和末期、東京は立川市のゼロワンショップでこれを見たときはカルチャーショックでした。なにせ生まれてこの方、物理的なスイッチでフロッピーディスクをイジェクトするコンピュータしか見たことがなかったものですから。さすがアメリカは映画もすばらしいがコンピュータも素晴らしいと思ったものでした。がしかし、高すぎる！一介の安サラリーマンがとても購入できる代物ではなかったのです。それが原因でMacとの本格的な出会いはまだまだ先のことになってしまうのです。

そして、PC-8000から始まっていた私のパソコンライフは、PC-9801F2、PC-286VEと続いていたのです。

Mac購入

元号も変わり、舞台は盛岡。この地できんしろさん(遠山さん)と出会い、再びMacへの思いが募って行きました。一介の安サラリーマンでも購入できる代物となったMacが、遂に自分の物となる日が来たのです。そして当時一番安かったClassicを購入しました。しかし、人生はうまく行かないのが常で、この時も仕事が佳境に入りMacと付き合い合う時間も心の余裕もなく

なっていました。

そんな訳でMacを本格的に使い始めたのは今年の1月からでした。

何かを作りたい

私は元来、小学校で言う所の図工(中学校で言うと技術家庭と美術、今もそう言うのかな?)が好きでした。

プラモデルを作る、ラジオを作る、天体望遠鏡を作る、絵を描く、ストーリーマンガを創る、写真を撮る等々。Macの世界も同じです。Macを作る?、いえ、それはかなり難しいので、Macを道具として何かを作ったり表現することです。

それが何なのかは、自分でもまだはっきり判ってはいません。

プログラミングに挑戦

その手始めとしてプログラミングに挑戦することにしました。プログラミングは無数の可能性を秘めています。

プログラミング言語としてThink Cを選ぶのに時間はかかりませんでした。Macの世界でもPascalよりCの方がメジャーになって来たことと、これだけ高性能高機能のコンパイラが実売価格3万台で購入できたからです。

そして、片っ端からThink Cプログラミング関連の図書を購入し(浅田さん、Inside Macintosh 1~5巻ありがとうございました!)、むさぼり読み、

サンプルプログラムを実際にMacでパンチし、コンパイルし、実行し、「ほほう、こう動くのか。」と動作確認して行きました。

ポインタやToolBox関数に苦戦している時に、野村さんから助言をいただいた時は神の声に聞こえたものです。

そして遂に、パンチすべきサンプルプログラムがなくなると、今度はHyperTalkに挑戦し始めました。掌田津耶乃氏の"入門、実習、応用HyperCard"3部作を一気に読破、パンチ、実行しました。今思えばきんしろさんが言う様に"狂気の沙汰"状態でした。3冊目を読破した直後、高熱を発し5日間寝込んでしまったのです。



"岩手競馬"を作る

バナナを食べて体調が回復したある日、MacPowerのバックナンバーをめくっていると、"HyperTalk10行勝負"なる連載記事が目にとまりました。そこにはわずか10行のスク립トで動く競馬ゲームが載っていました。競馬は嫌いではありませんでしたから、おもしろそうだなと思いさっそく作ってみました。でも、何かもの足りません。そう、賭けられないのです。賭けができなければ競

馬ゲームのおもしろさも半減してしまします。「じゃ、賭けれる競馬ゲームを作ろう。Hyper Talkも勉強したばかりだし、忘れないうちに。」と思い作り始めました。そして、それ程の苦勞も無く無事完成しました。しかし、その第一印象は「遅い！」でした。Hyper Talkでの作り易さは賞賛に値するものの、そのスピードに大なる不満を持った私は同じものをThink Cで作る決意をしました。Hyper Talkとは異なりデバックは地獄を見る思いでした。C言語とMacによる本格的なアプリケーションソフトの作成は初めてであり（ポインタ、ハンドル、文字列やオフスクリーンからのCopyBits関数の操作には苦勞した！）デバック中に何度Macの画面が乱れ暴走したことか。でも、持ち前の意地と粘りで何とか完成しました。その第一印象は「早い！」でした。Hyper Talkの数十倍（もしかすると数百倍）という印象でした。Hyper TalkもC言語並みのスピードがありかつカラーもできれば何も言うことはないのになあ。「岩手のリーディングジョッキー菅原勲が、そして武豊に勝った小林俊彦がMacを駆け抜ける！」そう思うと胸の高鳴りを感じるのを作った本人だけなのでしょうか？

PC-8000を偲ぶ

最近Color Classicを購入しました。安価で拡張性の高いⅡVi,Vxも検討しましたが、最小の資金でカラーと漢字Talk7を手に入れたいとの思いが、その選択をさせました。ずっとClassicを使用していた私にとっては、プログラミングを楽しむ環境としては申し分ありません。ただ、メモリ4Mでは漢字Talk7を動かすには不十分で（OSが3Mも使用する為）、1Mメモリ2個を増設し6M環境で使用しています。これで小さな画面さえがまんすればColor Classicでカラーと漢字Talk7が堪能できるのです。使用目的



を限定すれば、Color Classicのコストパフォーマンスはかなり高いと言えます。

本体32Kのメモリでカセットテープを記憶装置として使用していたPC-8000の頃を思えば、隔世の感ここに極まり！、です。思えばこの時も買って間もなくN88-BASICでポーカーゲームを作ったものでした。

最後にCMをひとつ。

特報！ "カラー版 岩手競馬"
近々登場！！

■ お世話になった本 ■

- ・インキイトマク徹底ガイド 上巻下巻 (BNN)
- ・Macintosh C プログラミング I、II (トブソ)
- ・TOOLBOX100の定石 (7スキー)
- ・THINK C プログラミング 技法 入門編、実用編 (BNN)
- ・ResEdit完全版 (トブソ)
- ・Inside Macintosh I~V (7ジソクエスレイ)
- ・入門、実習、応用HyperCard (7スキー)



◆ "岩手競馬" の紹介 ◆

本文中にあります"岩手競馬"は、私が初めてThink Cで作成したゲームソフトで、以下の特徴があります。

- ・総勢35名の岩手の騎手が実名で登場し、8頭でレースを競う。
- ・連勝複式4点買いが可能。
(単勝、複勝は不可)
- ・1992年の騎手成績(連対率)を基に馬のスピードを決定。
- ・騎手成績はHyperCardにて好きなように修正可能。
- ・5レースに1回の割合で波乱が発生。
- ・全騎手成績をリアルタイムに記録し、勝利数/勝率/連対率のいずれかの順番に表示を行う。
- ・ゲーム実行者の賭金/払戻金の成績をリアルタイムに記録、表示を行う。

Written & Edited



第2回ユーザーグループ代表者会議 (JUGAC) 議事録

アメリカのApple Computer本社では、ユーザーグループへの支援を強めるために、UGACという会議が開かれています。そこではユーザーグループの代表とApple Computerの間で、ユーザーグループの先駆的な活動内容や、抱えている問題点、今後どのようなサポートを希望するかなどが活発に話しあわれます。また、New Productの説明や、交流のためのレクリエーションなども行なわれます。

日本で初めてのUGACは、代表者会議として1991年に開催されました。その後、Macintoshのユーザは大きく増加し、それにともないユーザーグループの活動内容にも大きな変化が出てきました。

アップルコンピュータは、これからのユーザーグループサポートに役立つ意見交換をするため、日本各地から11名のユーザーグループ代表を招待し、9月の25・26日の2日間、麻布の東京アメリカンクラブ内において、第2回代表者会議を開催しました。

第2回代表者会議の参加者は、北海道マッキントッシュユーザー会 (HMUG) 代表、松岡●●さん。岩手Mac友の会 (IMF) 代表、野村行憲さん。からっ風MUG (KMUG) 代表、野村亨さん。情報と教育マッキントッシュユーザーズグループ (CATMUG大阪) 代表、加賀康弘さん。Shikoku Maniac & Apple Club (SMAC四国) 代表、井上●●さん。Macin Fukuoka (九州) 代表、須川●●さん。FSKI MUG(Nifty)代表、根本●●さん。2日目のコンファレンスには関東のユーザーグループから、JHUGの立山●●さん。電脳仕掛人倶楽部の高山直久さん。RMUGの石津広也さん。Talking Space for Mac Friendsの園米弘一さんらが参加されました。なお今回の参加者は地域や活動内容を考慮してアップルコンピュータにより選出させていただきました。アップルコンピュータからは、ユーザーグループ担当の青山と吉川、アドバイザーとして野村が出席しました。

JUGAC '93はWelcome Partyから始まりました。Newtonのプロモーションビデオを見ながらのパーティでは、新製品の話題で盛り上がり、初参加の方もうちとけた様子でした。

会議はアップルコンピュータ 青山のあいさつで幕を開けました。各地に散在するユーザーグループ同士の、横のつながりを作る手伝いをしようと始めたユーザーグループサポートも、Macintoshユーザーの急速な増加に伴い、新たな転換期を迎えています。今までサービス&サポート部が行っていたユーザーグループサポートも、マーケティングが担当する事になりました。今後のサポート活動の方針や内容を決定する上で、今回の代表者会議で実際にユーザーグループの声を聞き、できるだけ希望に添うようなものにしていきたいと話がありました。

次にアップルコンピュータ吉川から今年の4月から5月にかけて行なわれたUGサーベイ調査の報告がありました。ユーザーグループの目的や概要、活動状況や現在抱える問題点などを各ユーザーグループに郵送によるアンケートで答えていただいたもので、112のグループから返信がありました。

ユーザーグループからの希望で代表的なものとしては、新製品情報の提供や例会用機材の貸出しについてなどが上げられました。

議題は来年のMAC EXPOに移り、ユーザーグループとしての取り組みや、ブースの扱いについて、アップルコンピュータから報告がありました。今までの展示・即売ブース以外に来年は会議室を一つ確保できそうだから、その使用方法について各ユーザーグループに持ち帰って企画を出してもらいたいと提案がされました。また、'93 EXPOでの有料ブースの使用料金は、アップルコンピュータでMacintosh II Ciを購入し、ねむの木学園へ寄贈したという報告がされ、参加者の暖かい拍手に包まれました。

コーヒープレイクの後、ユーザーグループの活性化についてHMUGの松岡さんから先進の事例紹介が行なわれました。

去年まで会費の納入や例会の参加者なども少なく、活動が停滞していたHMUGで、新しく幹事を引き受けた松岡さんは、会員の気持ちをノせて楽しい雰囲気を作ることに、役割を分担させて特定の人に負担がかからないようにすることを目指したそうです。

HMUG活性化プロジェクトを「革命」と位置付け、まず、自らを「大統領」と名乗った松岡さんは、会費を「納税」、会計を「大蔵大臣」、通信での連絡役を「駐NIFTY大使」、例会での講習を「もちまわりソフト大学」などのアイディアあふれるネーミングに置き換えて盛り上げていきました。また、女性会員を増やせば男性会員は自然に増える、との信念(?)で「1人3ナンバ運動」を展開。遊び心が運営を活性化させたと言います。

例会、通信、会報を三位一体として、例会の内容を通信で報告し、そのログファイルをそのまま会報へ掲載。すると通信をやっていた会員も通信の雰囲気が分かるし、例会への参加者も増えたという、無駄のない運営を行なっています。

現在抱えている問題点としては、販売店との協力関係をどのようにしていくか、初心者とパワーユーザの要求をどのあたりでバランスよく取り上げていくかなどだと言います。ユーモアあふれる話し方で今後はさらにHMUGを大きくして、BMUGのように発言力のあるユーザーグループに育てていきたいという松岡さんの報告でした。

初日のコンファレンスが終わった後は、新製品のデモが行なわれました。持ち込まれたのは10月に発売になるMacintosh Quadra 840AVとCentris 660AV、そして話題のNewton MessagePadです。

AVシリーズによるビデオの入出力やPlain Talkによる音声制御のデモは、今までのコンピュータ利用方法を

大きく変える技術のため、みなさん興味津々でした。さすがに日本を代表するユーザーグループのみなさんだけあり、かなり専門的な質問も出され、デモ中の説明員に操作を教えるという出来事もあって楽しいひとときでした。また、5台用意されたNewton MessagePadも日本での販売はまだ未定ということで、自由に触れるチャンス待ち望んでいたという人が多く、盛り上がりを見せました。

ビデオカメラで撮影された参加者の写真はQuadra 840AVのビデオ入力機能によってフロッピーディスクへコピーされ、参加者へのお土産となりました。

2日目の26日は関東の4ユーザーグループも参加し、「Mac Avenueの今後」というテーマでシステムオペレータの根本さんを中心にコンファレンスが始まりました。

現在Mac Avenueはユーザーグループの代表者しかアクセスができません。アップルコンピュータ(株)から、Apple Linkまでのつなぎとして、一般の会員への開放は考えられないだろうかという意見に、賛否両論の意見ができました。自前のBBSを持っていないグループからは賛成の声もありましたが、現状での公開はシスオベの負担が増え、混乱を招くのではないかという意見も出されました。これを元にMac Avenueの役割について討論され、当面は各地域ごとにゲートウェイを繋ぎ、希望するグループにはIDの複数発行をしていくということで意見の一致を見ました。

次に、現在ユーザーグループの抱える問題点やアップルコンピュータへの要望について、参加された各ユーザーグループごとに意見が出されました。

●KMUG

BBSを運営していく上で、技術的な疑問が山積みになっているため、ホストの運営や通信ソフトのノウハウについて相談できる場が欲しい。

●FSKIMUG

BBS中心のグループは全国にメンバーが散らばっているし、メンバー層も広いので、大きなプロジェクトを必要とすることが悩み。また、昨日の新製品デモのような技術情報をもっと欲しい。

●CTMUG

地方では販売店も少なく、技術情報も不足している。ユーザーグループが一般のユーザーサポートをしている状態だ。仕事でMacintoshを使っている人へのサポートは、相手が切羽詰っているだけに大変な労力を必要とする。

●HMUG

グループをどんどん大きくして行きたいため、アップルコンピュータに、ユーザーグループのPRを手伝って欲しい。現在APDAから入手している、システム関連のベータソフトウェアなどの配付を行なって欲しい。

●IMF

ビギナー教育のガイドラインがないため、カリキュラムが組みづらい。キャリアパスのカリキュラムなどを検討してもらいたい。

●SMAC

パワーユーザとビギナー、及び仕事で使っているユーザと趣味のユーザ(マニア)の差が大きく、方向性が決めにくい。また、有料の講習会には抵抗もあるが、他のグループではどうしているのだろうか？

●Macin Fukuoka

会員が増えてくると、定例会の場所確保や連絡が大変だ。場所もどこでもいいというわけには行かず、ある程度の広さや交通の便などが必要になってくる。連絡や質問などには通信の有効利用が必要だと思う。

以上のような意見が出され、アップルコンピュータでは、これらの問題点

の中から、ユーザーグループサポートの方で提案・解決ができるものやユーザーグループ同士の情報交換で解決ができるものから進めていくという事になりました。

コンファレンスの最後に、RMUGの石津さんから、8月の29日に東京 晴海客船ターミナルにて開催された「UGC in KANTO '93 Aug.」の報告が行なわれました。

関東圏のユーザーグループは数も多く、目的や活動形態もさまざまです。なかなか一度に集まって交流というわけにはいきません。せっかくのUGCですので、何か大きな目的をもって集まりたいという希望があったそうです。今回のUGC in KANTOでは、ユーザーサポートの現状というテーマで、ユーザーグループだけでなく、デベロッパ、販売店、アップルコンピュータへも協力を呼びかけ、合同研究会のようなコンファレンスを持ちました。関東地域で始めたこのような展開が、全国的な広がりになっていくことを計画していきたいということでした。

昼食の後、今回の代表者会議で話し合われた内容を、各ユーザーグループへ持ち帰って討論したり、他のユーザーグループへも持ちかけて、全国のユーザ共通の話題にして欲しいとアップルコンピュータからあいさつがありました。

また、最後に今回ユーザーグループサポート3年目にしてその任を離れる、アップルコンピュータ 野村のあいさつがありました。ユーザーグループ代表の方から花束を受け取った野村は感涙で声になりませんでしたが、「この3年間、辛いこともあったけど、楽しい、いい経験をさせてもらいました。これからカスタマーサポートの仕事へ専念していきますが、この経験を生かして、新しい仕事でもがんばっていきます」と決意をかたりました。

今年の六月、岩木山にミチノクコザクラを見に行ってきました。一年前からの計画で、前日の土曜日盛岡を出発して、麓の温泉で一泊。ロープウェイが故障していたので45分程登山し、頂上から少し降りたところに、待望のミチノクコザクラが出迎えてくれました。

焼石岳のユキワリコザクラと比較すると花卉が大型で、色が濃く見えます。ユキワリコザクラはピンクの可憐



な花で、ミチノクコザクラは赤紫色で立派で存在感の有る花と言えるでしょう。

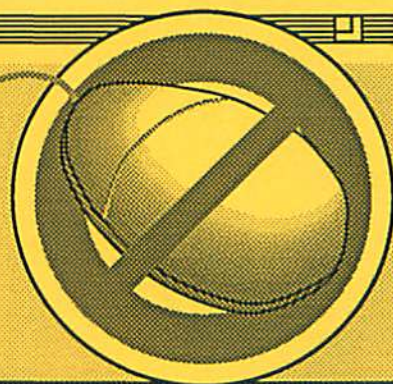
ミチノクコザクラの母種はエゾコザクラで、その名のとおり北海道からアラスカまで広く分布しています。大雪山に登れば群生地が幾つもあるとの事、いつの日か大雪山のお花畑で思いっきり写真を撮りたいと言う希望がフツフツとわいてきます。



ミチノクコザクラ

大まか 余慶なお世話

今回の「余慶なお世話」は前号に引き続き、「漢字Talk7 キーボードによるMacの操作Tips集 第2弾」、ダイアログボックス編です。



ダイアログ・ボックスに

マウスはいらない時もある...

ダイアログ・ボックスが表示されたとき、ほとんどの人はマウス（あるいはトラックボール）に手が伸びるのではないのでしょうか？さまざまな設定をするようなダイアログ・ボックスの場合にはマウスは必須ですが、実行するだけ、確認するだけ、選択するだけのダイアログではキーボードだけでことが足ります。「return」や「enter」は当然として、そのほかにも使えるキー／キーコンビネーションがあるのです。

全てのダイアログ

通常のダイアログボックスには、その機能を実行するためのOK（実行）ボタン、その機能を実行しないためのキャンセルボタン、そしていくつかの入力フィールドがあります。大抵はOKボタンが黒枠で囲まれてあり、黒枠で囲まれたボタンは「return」または「enter」で代用することができます。

return **enter**

OKボタンの場合はOKを意味する「command+O」で代用することができます。キャンセルはもちろん「command+.（ピリオド）」です。

command + **O**

command + **.**

そして嬉しいことに、入力フィールドに対してはカット&ペーストが有効となります。検索や保存のときに重宝します。

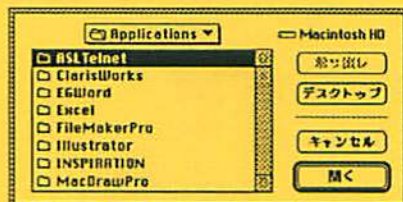
command + **X**

command + **V**

オープンダイアログ

開く

ファイルのオープン時に表示されるダイアログボックス。たいていのオープンダイアログはこんな感じに表示されます。



「デスクトップ」ボタンは「command+D」で実行できます。

command + **D**

ファイルは「↑」、「↓」で選択できますし、前号のFinderと同様に、頭文字をタイプしても選択できます。

↑ ↓ **A B C**

それでは、フォルダの移動はどうするのでしょうか？「command+↑」で上位のフォルダへ、「command+↓」で選択したフォルダに移動します。

command + **↑**

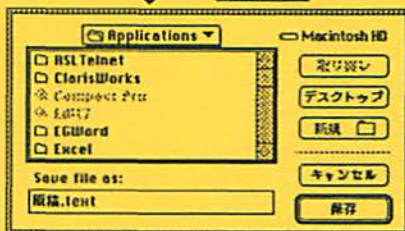
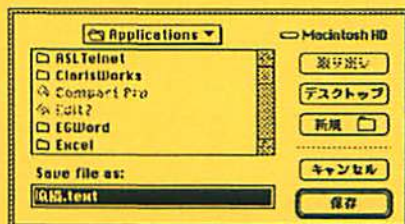
command + **↓**

セーブダイアログ

保存する

基本操作はオープンダイアログと同じです。セーブダイアログには保存ファイル名をタイプするフィールドがあることが違います。

フォルダ選択部とファイル名フィールドは、どちらもキーボード操作が可能ですが、どちらが操作対象になるのでしょうか？有効な方は黒い枠で囲まれ、「tab」で操作対象を切り替えることが可能です。



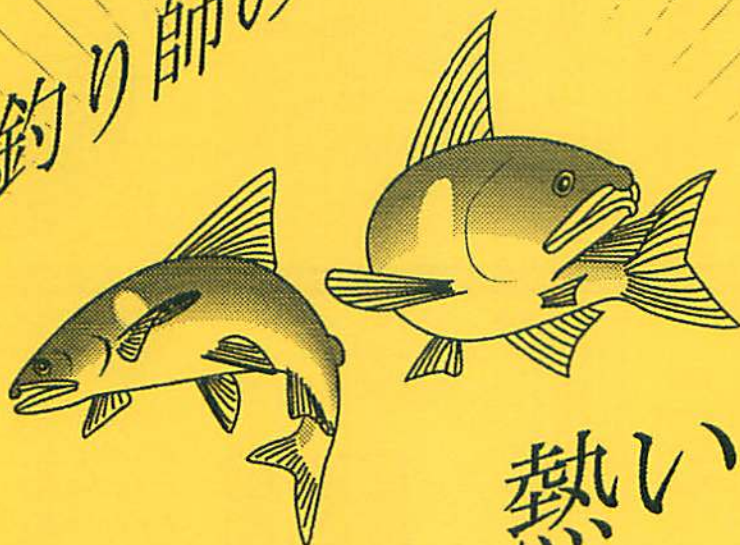
標準のセーブダイアログには新規フォルダを作成するためのボタンも用意されていますが、これは「command+N」で実行できます。

command + **N**

キーボードシリーズもそろそろネタ切れです。連載は2回で勘弁してください(^.^)。

Written & Edited by S.Kudoh

電腦釣り師の



暑い夏

今年の夏は寒かった。

しかし、電腦釣り師の夏は、今年も、熱く、熱く燃えていたのだった。

みなさん、NIFTY-SERVEに釣りフォーラムというのがあるのを知っているだろうか？

知らない？ごもっとも。

パソコン使いで、ネットワークで、NIFTYの常連で、しかも、釣りが趣味という人は、そうめったにいない。

そのなかに、清流会議室というものがある。入会資格が厳しく、やや、すげべえな人か、そうとう、えっちな人しか入会できないという、たいへん"上品"な会議室なのです。

最近、議長が変わってから、いっそう、"上品"度が、増したので、お好きな方は、一度、覗きに来てみてください。



その、清流会議室でOLM(オフラインミーティング)をやる事になった。

OLMというと、普通は、飲み会の事をさすのだが、そこは、釣りフォーラム。7月3日、北は岩手から南は宮崎まで、岐阜県は長良川に一同に会して、釣り大会とい

うことに相成った。

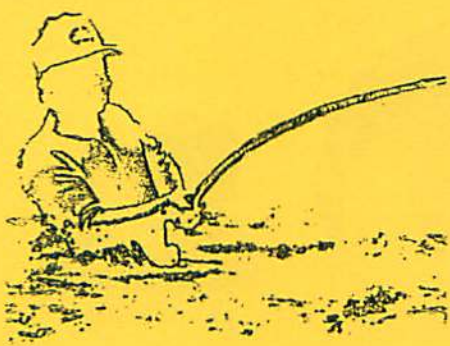
北は岩手からというのは、もちろん、この私のことです。

日本一の名川と謳われながら、いま、河口堰問題で揺れる、長良川。はじめて見たその雄姿は、まさに、雄大でダイナミックで荒々しく、素晴らしかった。

感動！

ところが、今年は、異常気象だった。

その日も、前日までの大雨で、川は、洪水状態。しかし、それでも諦めない面々は、釣りになりそうな川を探して、ほぼ、岐阜県を一周した挙げ句、ようやく、長良川支流、郡上八幡の町を流れる吉田川にたどり着いたのだった。



昨日の、あれほどの泥濁りが、一晩でこれほど澄んでくるというのは、水の源である山が荒廃していない証だ。

しかし、残念ながら、釣果奮わず、長良川の鮎と言うにはおこがましいようなちび鮎を、4匹掛けただけに終わった。

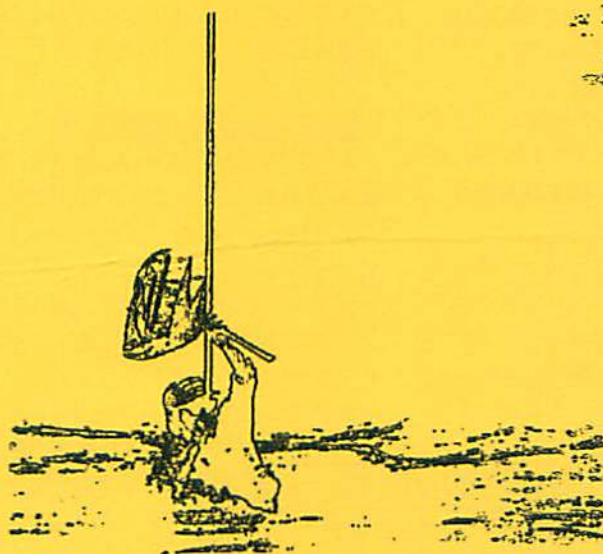
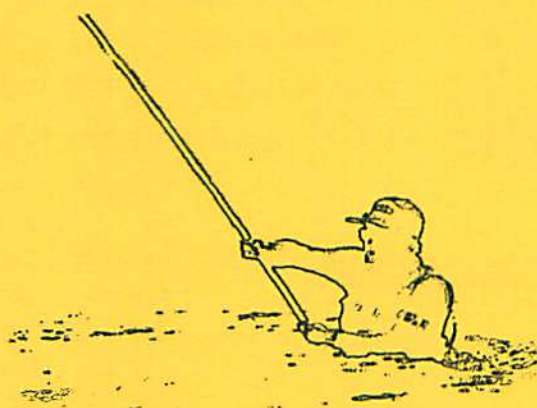
鮎釣りの魅力は、他の釣りとは、すこし次元が違うところにある。一見、古風で、枯木とした感じに見えるかも知れないが、その実、あれほどヴィヴィッドでエキサイティングで、デンジャラスな釣りはない。

その、あまりにも強烈な魅力ゆえに、人によっては、悪魔の魚などと呼ぶ人もいる。

その水の綺麗なこと。

凜とした誇り貴き淑女の気概がほとばしるようだ。

結局、その日は釣れなかったが、メンバーの熱き思いは、OLD



鮎に、人生を狂わされて流れて行った男達がごまんと居る。

その、魔性の魚に魅せられた男達の、熱い、熱い、ひと夏のドラマが、今年も始まったのだった。

つづかない..... キハリと

で爆発し、夜が更けて行くのだった。

あけて、翌日、長良川本流もいくぶんおさまり、まだ、1mも水位高かったが、釣りになる。



作ってみよう!

Photo CD



by Manabu Satoh



Photo CDのアイコン

フォトCDを作るのは簡単! なんてたって、人まかせですから。撮影済みのフィルムをもって写真屋さんに行って「フォトCDをお願いします。」って言えばいいんですから。別に写真屋さんじゃなくてもFUJIやKodakの旗がある店なら大丈夫(なはず)。

フォトCDをたのんでみる。

フォトCDを開発したのは、アメリカはEastman Kodak社。では、ということ、コダックの看板のある、北上のラボアメリカンに頼んで見ました。

私: 「すいませーん。これ(ネガ)をCDにしてほしいんですが。」

店員: 「えっ。プリントですか。」

私: 「いえっ。CDに焼いてほしいんですが。」

店員: 「CDですか??」

私: 「はい。コダックで写真をCDにするサービスを始めてるはずなんですが。」

店員: 「さあ…よく解りませんが…、ちょっと…」

私: 「じゃあ、いいです。」

雑誌やIMFの例会でいくらか知っているとはいえ、店員さんが知らないとするとこちらも自信がなくなり、すげすご退散。

今度は花巻の元エンドー(今はスーパー)内の藤田屋写真の支店。

私: 「えーと、フォトCDにしたいんですが。」

店員: 「は、ちょっとお待ち下さい。(どこかへ電話)」

私: (まただめかな。)

店員: 「はいわかりました。FUJIとコダックのがありますが。」

私: 「えっ。(ほっ。でもKodakじゃないっけか。) あ、どっちでもいいですよ。」

店員: 「じゃあFUJIをお願いしますね。えーと、どれですか。」

私: 「これとこれと除きみんです。」

店員: 「はいわかりました。1週間位かかりますので、できあがり次第電話しますから。」

私: 「はいじゃあお願いします。」

店員: 「どうもありがとうございます。」

ということであとは待つばかり。

1週間とちょっとたったころ、留守番電話に「藤田屋写真です。フォトCDできました。」とはいっていました。すぐいって受け取りました。料金は、ディスク代1000円、書き込み料80円×20コマ、基本料金500円。しめて

3100円也でした。

最初に書き込まれたのは、私が初めて担任する、1年生のわらしたちの顔写真でした。

Photo CDを見るために

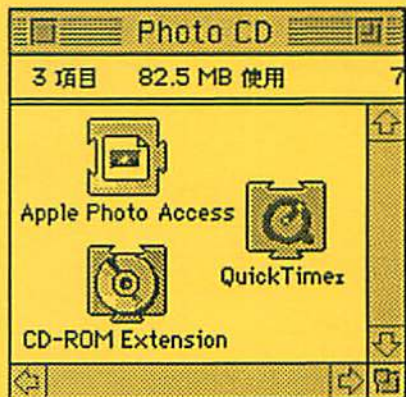
しかし問題が。CD-ROMドライブはあるけれど、フォトCDが読めない。「Macintoshのディスクではありません。イニシャライズしますか?」と聞いてくるではありませんか。ドライブソフトはフォトCD対応になったはずなのに。

説明書を読むと…「フォトCDを見るためには、

フォトCD用のソフトが必要です。」えーっ。さっそく、Mac in Talkに書き込み、教えを請いました。

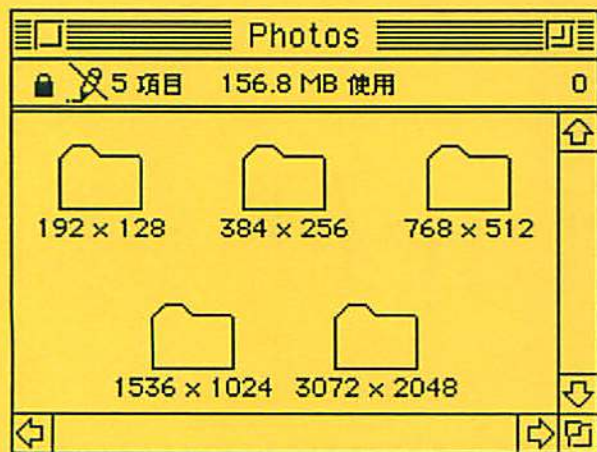
するとすぐに丁寧なご指導が。ふむふむ。

PhotoCDにはPhotoCDをアクセスするドライブ(INIT)が必要です。



PhotoCDを見るために必要!

漢字Talkアップグレードキットに入っていたような気がします。たしか、Apple PhotoCD Accessとかいって。違うかな？ (by 工藤さん)



画像データは5種類

結論から言えば、ロジテックのCD-ROMドライブのインストーラーでインストールされるINITの内の、CD-ROM Extensionのみを残して後は、アップルのCD-ROM関係のINITを入れれば読めます(少なくとも私は読めている)。

< 中略 >

Apple Photo Accessで、この辺りは探せば簡単に入手可能と思いますが、どうしても分からない場合は私へ連絡ください。

以上のアップルのINITにプラスして元々、ロジテックのに付いてきたソフト、CD-ROM Extensionがあれば、とりあえずはフォトCDは見られます。(by しぶりさん)

ということでした。(工藤さん、しぶりさんありがとうございました。)すぐニフティからダウンロードしてインストール。無事Photo CDを見るに至りました。

当時はLCで256色でしたが、とてもきれいでうれしかったです。



フォトCDを有効利用しよう!

○フォトCDで満足している点。

- (1) お手軽。作ってしまえば簡単。
- (2) 画質が良い。スキャナーを使ったことがないけど。

(3) Macで見れる。→データとして加工が自由。

●不満な点。

(1) でき上がるのに時間がかかる。10日はかかる。

ふつうのプリントみたいに遅くとも3日くらいでできてほしいなあ。

(2) 値上がりしたこと。Kodakは本気でフォトCDを普及さ

せる気があるのか!

(1枚目はディスク代無料とか、

フォトCD普及月間につき手数料サービス!とかやってみようよー。)

個人的にはほぼ趣味でMacを使ってる分には、クオリティは十分!(猫に小判!)今のところ、昔撮った写真の整理とか、アルバムがわりの使用が8割で、あとは学級通信に子供達の顔写真をのせたりするのに使っています。

より有効に(Macで)使うために、安くて使いやすい(これが肝心)カラープリンタと、安くて大容量のメモリが欲しい、と思う今日このごろです。

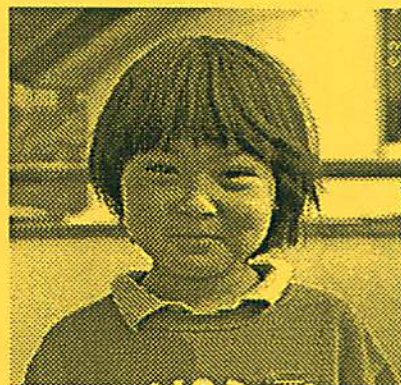
(やっぱり色数は32000色以上の方がきれいです。カラークラシックでも時間さえあれ



佐藤 学



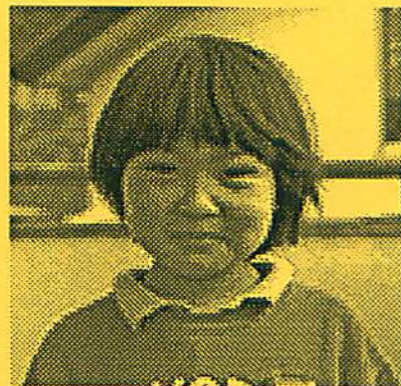
1536×1024



384×256



768×512



192×128

<モデルは10月に転校していった「あきちゃん」です。>

はじめての Mac研修

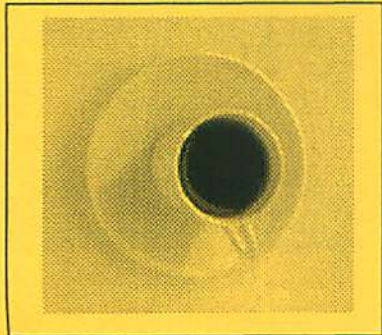
自己紹介

みなさんはじめまして。何度かお会いしてるかたもいると思いますが、最初に自己紹介をしたいとおもいます。9月のユーザー会から入会しまして、みなさんご存じの杉村さん（杉村課長）の弟子でもあります千葉智彰です。Macは、見たこともさわったこともありませんでしたが、みなさんに教わりながらいろいろと覚えていきたいと思っておりますので、ご指導のほうよろしくお願ひします。

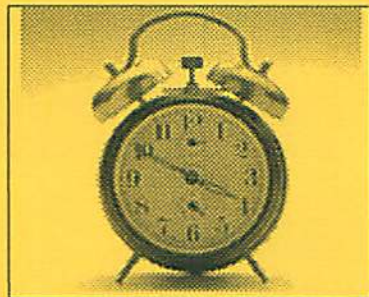
そんな私が、なぜ原稿を書いているかといいますとそれは、ある朝出社しますと”土村さんの推薦で今度の会報の原稿、千葉君がかくことになった”という杉村課長の一声で書くことになってしまいました。

Macとの出会い...

9月2日、この日に私が初めてMacに



おめにかかったわけですが、最初の印象としては、カラーがとてもきれいであることと、くそめんどくさいコマンド入力がなくて操作がとても楽であること。この2点ですね特に感じたのは。以前の仕事で、さるメーカーのある機種でプログラム開発のまねごとなどしていましたがこんなにパソコンで楽しかったかななんて思っている今日このごろです。



仙台へ...

9月中旬、いよいよタイトルにもなっている”はじめてのMac研修”を受講に2日間仙台へいくことになりました。その前に会社のIIcxでEXELやEGWORDなどいろいろあそばせてもらい研修のまえに社内研修をうけて本番へとのおぞみしました。ここで私が、仙台での研修で大変お世話になりました美人講師を紹介しま

す。名前は、”今 真樹子さん”。仙台のCANON販売に勤務している22歳、超美人さんです。本当に本当に美人さんなんですよ。それで今回、コメントをおねがいがしたところ快く引き受けていただきました。ありがとうございます。そのコメントは、最後に掲載しています。

そんなわけで、1日目の研修がスタートしました。最初はMacのハードウェアについて。たとえば、各ポートの名称、SIMMとはなんぞや、Centoris660AVの見積りを作成するには何々必要でどんなケーブルでつなぐのかわ、ソフトのインストールの仕方などなど.....ごく初歩的なことからはじまったわけですが、これが結構知らない者にとってはじめて聞く用語が多くて一回で覚えられないもの何ですね。（ただ頭が悪いだけという噂もあ



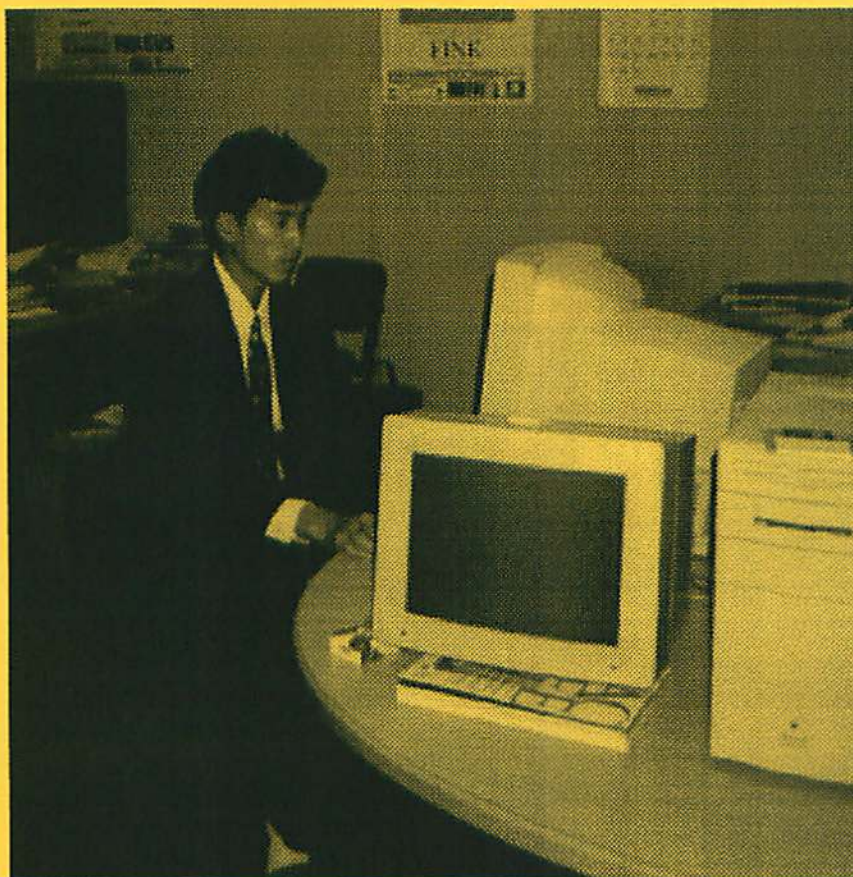
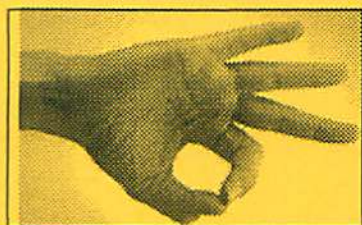
るが...) そんなで午前中が終わりました。午後はといいますと実際にMacを動かしEXCEL基本編。ここでは、EXCELの概要やワークシートの編集、グラフの作成などを実際に個人別売上実績表をつくりながらの研修でした。”こんなに簡単にグラフまで作成できるんだな”なんて妙に関心してしまっているうちに1日目が終わってしまいました。

2日目は、EXCEL応用編。ワークシートの連結、アウトラインの作成、ゴールシーク、シナリオマネージャー、そしてIF関数やLOOKUP関数などの代表的な関数の使い方こんな感じで2日間にわたる私の、”はじめてのMac研修”が終了しました

毎日が研修

Macをやりはじめて2カ月あまりがたったわけですが様々な方々と知り合うことができました。そして、毎日あるいているうちにきずいたんですけど、私にとっては毎日が研修なのです。毎日が新しい経験ばかりで...。これからもみなさんのお知恵を拝借し、教えをうけながら勉強したいとおもっています。仙台での研修でもいわれたんですけど”新製品に強くなる”を私の目標としていきたいとおもいます。

最後になりますが、小学生以下の作文みたいな文章で大変恥ずかしいのですが、勘弁してください。そして、土村さん、ひやひやさせてすいませんでした。私ももしかしたら間に合わないかと思いました。(うそです) みなさん今後ともよろしく申し上げます。

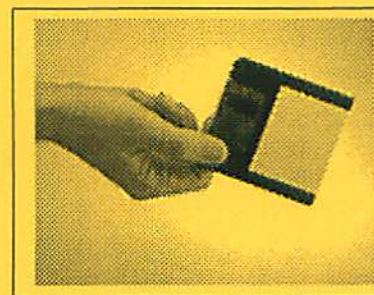


今さんよりメッセージ

千葉さんにはじめてお会いしたのは、9月中旬、仙台でMac入門コースを受講されたときでした。背がたくく、さわやかな好青年という印象の彼でしたが、2日間とても熱心に講習を受けてらっしゃいました。

講習中にもお話ししたと思いますが、”新製品に強くなる”を頑張ってください。長年Macに携わってきた営業さんも、次々でる新製品には、頭の中がオーバーフローを起こしそうな様子です。ここで、私達がこれからのMacに強くなっていくわけではありませんか!と言うことで、期待の新人さんに是非頑張ってくださいね。応援しています。

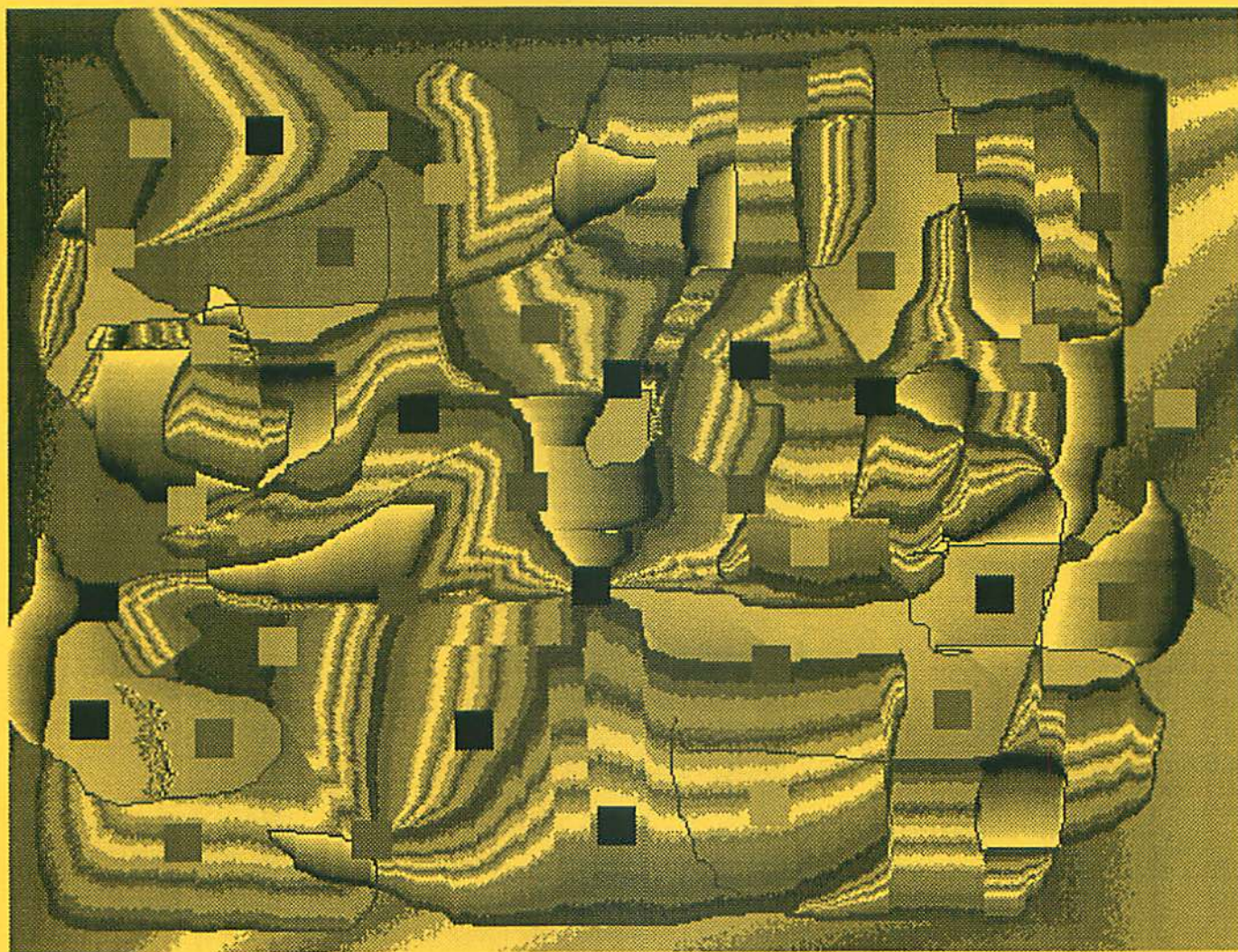
(今 真樹子)



文 千葉 編集



林檎ギャラリー



1993-11 Masao.Segawa

by 瀬川昌男

編集後記



目下 Newtonをイジルのと、IMF専用BBSの立ち上げが最大の関心事です。夢中になっているときに幸せを感じさせますね。ところで、miniMMMは、名前はminiですが、ゲストは例年どおり豪華です。参加できない方には申しわけない。野村



帰宅するとBBSをのぞくだけで、手をつけていないupgradがたまっています。新しいものに興味は有るけれど、意欲の減退か、脳細胞の衰えか？一気に挽回出来ないで、日々努力せねばと反省しています。佐藤



H.C.

初参加にも拘わらず、貴重な紙面を2頁も頂きありがとうございます。今後もMacある限り、MacLifeを謳歌して行く所存です。千葉(浩)



なかなか原稿があがってこなくてハラハラ・ドキドキの毎日でした。土村



Photo CDを作っはみたものの、あんまり使っているという感じではないです。もっと安くならないかな。LC475へのアップグレードを考えてる佐藤でした。



S.Saitou

PhotoShopも、Illustratorも、ひたすら、根性、根性だけの世界でした。

才能や、センスなど、ミジンコも必要ありません。齊藤



編集後記が書ける幸せを噛みしめています。あなたもいかがですか？ 徳富でした。

会員名簿

青山 真紀子	盛岡市	鈴木 裕之	盛岡市
浅田 昌稔	北上市	瀬川 昌男	盛岡市
浅沼 豊	盛岡市	関口 厚光	盛岡市
浅野 恵治	仙台市	平 靖夫	盛岡市
阿部 好晴	盛岡市	高鳥 浩一郎	盛岡市
池田 学	久慈市	高橋 晃	盛岡市
石田 宏	盛岡市	高橋 浩幸	盛岡市
一井 誠	盛岡市	武元 伸次	盛岡市
伊藤 光司	花巻市	谷口 和美	盛岡市
井上 督	盛岡市	田村 真智子	盛岡市
祝田 明子	盛岡市	Daryl Pitts	花巻市
沖野 覚	二戸市	千葉 智彰	玉山村
小野寺 一郎	紫波町	千葉 浩保	盛岡市
桂川 茂彦	盛岡市	塚野 弘明	盛岡市
兼平 信一	盛岡市	土村 中	盛岡市
鎌田 五百枝	盛岡市	照井 芳夫	花巻市
神 達宏	盛岡市	遠山 明人	盛岡市
菅野 研一	宮古市	徳富 亘	花巻市
木村 栄子	盛岡市	苦米地 怜	八戸市
工藤 聡	滝沢村	豊間根 道子	盛岡市
工藤 利悦	盛岡市	永澤 幸雄	盛岡市
熊谷 朋也	盛岡市	長土居 正弘	盛岡市
小松 寿夫	北上市	西島 光茂	盛岡市
近藤 英一	紫波町	野村 行憲	盛岡市
斉藤 岳	盛岡市	福田 健次	盛岡市
斎藤 秀一	盛岡市	藤澤 義栄	花巻市
佐々木 明宏	盛岡市	藤村 洋	盛岡市
佐々木 幸司	盛岡市	本多 健一郎	盛岡市
佐々木 健	岩泉町	米谷 則美	宮城県涌谷町
佐々木 治男	矢巾町	三浦 利章	浄法寺町
佐々木 文雄		三浦 吉範	盛岡市
佐々木 光夫	大槌町	宮 義裕	矢巾町
佐々木 吉則	盛岡市	宮本 岩保	盛岡市
佐藤 顕	仙台市	村上 宏文	盛岡市
佐藤 雅子	盛岡市	村上 弘行	盛岡市
佐藤 学	宮守村	村川 寿	柏市
佐藤 護人	盛岡市	本館 康司	花巻市
渋谷 健治	安代町	藪 敏裕	盛岡市
渋谷 芳三	盛岡市	山本 淳	盛岡市
白石 隆	盛岡市	横田 喜安	盛岡市
菅原 忠雄	花巻市	横手 登	盛岡市
杉村 栄一	盛岡市	吉田 新二	盛岡市
杉村 峰秀	花巻市	渡 辺 浩志	能代市

例会案内

12月 18日(土)
14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

場所:
岩手大学
教育工学センター

例会案内

1月 15日(土)
14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

場所:
岩手大学
教育工学センター

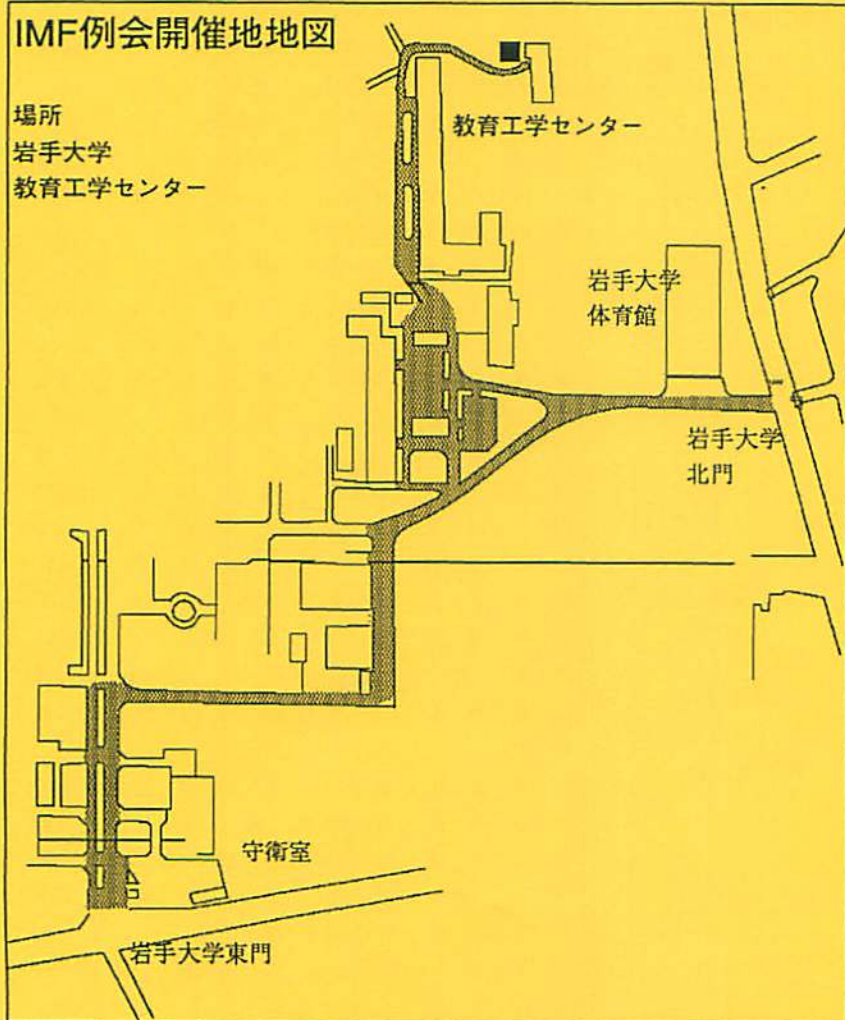


例会の後で、場所を変えて編集会議を行います。

お時間のある方
ご一緒しませんか?

IMF例会開催地地図

場所
岩手大学
教育工学センター



「林檎」28号 は...

Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	MacDrawPro
Illustrator	MacPaint
MacVJE	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter
SuperPaint	クラスワークス

等で作ったものをPageMaker でまとめLaserWriter, Microline でプリントしました。

「林檎」第28号 1993/11/20
編集長 高橋 晃
発行 岩手Mac友の会
代表者 野村行憲
020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品